

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
酒というレンズが人の虚像見せ	見上げれば虚像の鬼が苦笑い	虚像かも知れぬ人生赤を足す	初恋の彼は虚像かクラス会	初恋の描いた夢は雲の上	保身する嘘を鏡に叱られる	プロフィール想像力が肥大する	ひじかけつきの椅子に虚像を座らせる	虚像と共に二人羽織を演じきる	虚像から実像までを埋め戻す	ふと我に帰れば虚像ばかり追う	パソコンの中から出ては来れぬ君	王子さま虚像と知って五十年	張り子だと悟つた三毛が爪を研ぐ	日の目見るままだは借りてきた猫でいる	本音隠し言葉巧みの二枚舌	虚像だと知っても虹にあこがれる	パティシエは虚像を少し削り入れ	虚像だとわかってからの天地真理	人間の虚像を映す凸レンズ	虚像だと気付いて楽になる夫婦	きのうまで虚像の中に居候	虚像でも平和の尻尾しがみつく	カリスマの虚像が剥がれ只の人	少年は夢を描いて突つ走る	国会の椅子に虚像が群れている	着ぐるみで虚像演じているバイト	真つ白な画布に平和という虚像	偉人伝実は虚像と歴史学	政権の虚像に巣くう欲の渦

課題 「虚像」

60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	50	49	48	47	46	45	44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31
実像も虚像もあつて人間味	わけもなく曝されている少女像	お昼寝の園児夢みる遠未来	崩される虚像買わせる週刊誌	マスコミの虚像真意が見えぬ儘	パワハラの上司に映る家庭不和	女房を神に祀っている家族	満たすほど心が渴く虚栄心	空財布都合つかぬと逃げを打つ	エピソード交え虚像を肉付ける	貿易の数字の陰の国家主義	押し入れを開けて虚像と分かる部屋	螻蛄を大きく見せる核の霧	実像と虚像が混じる肖像画	お互いの虚像に恋をするふたり	自分史のところどころに描く虚像	たみがあるじ民主三党嘘くさい	村度の老眼鏡をかくし持ち	愚直さに仮面剥され晒す錆	化けて出る霞が関がもつ文書	アイドルの仮面はぎ取る週刊誌	バーチャルと闘っている前頭葉	向こうから見ればこちらが幻の	老夫婦虚像の影も落ちている	神セブンあの子ホントは気が弱い	ひょうきんな息子と知つた披露宴	張りぼての虎だとみんな知つている	虚像でも紙でも神としておこよう	当選の花束嘘がうまくなる	父ちゃんは大黒柱だつたつけ

(選)

